

防災・減災に関する取り組みをしてみませんか？

2024/3/11

えにしの日

いつかの
「やっておいて
よかった」のために

わたしたちが
いまできること

あのマニュアル、
あの防災マップ
いまでも使えるの？



やってみることで
安心する。
新たな課題が
見つかる！

えにしの日とは

滋賀の縁創造実践センター滋賀県社会福祉協議会、滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議、滋賀県は、災害時に命を守るのは日頃からの地域のつながりであり、支え合えるコミュニティがいかに大切であるかを県下一人ひとりが考え、話し合い、心に刻む日にしたいとの思いから、東日本大震災が発生した3月11日を「えにしの日」と決めました。

また、えにしの日をきっかけに、災害時に支援を必要とする人の側に立った訓練や学習会等の取り組みを、県民運動として広げていきたいと考えています。

実施期間：令和6年3月1日～3月31日（えにし月間）

令和5年度の重点取り組み

- ① 地域コミュニティを意識した防災学習
- ② 事業継続計画・業務継続計画(BCP)等、マニュアルの検証・見直し
- ③ 個別避難計画を活用した訓練・学習会
- ④ 子どもの防災教育

取り組み事例

- ・ハザードマップ検証
- ・子ども食堂と地域住民の共同学習会
- ・個別避難計画に基づく地域と連携した訓練
- ・施設・事業所等のBCP等の検証・見直し
- ・施設・事業所内での防災に関する研修
- ・要配慮者当事者団体が実施する訓練・学習会
- ・要配慮者の避難支援について考える研修
- ・子ども食堂における避難訓練・防災学習会

「実施計画書」を滋賀県社会福祉協議会にご提出ください。

令和6年2月20日(火)まで

※実施期間内に実施された重点取り組みにかかる経費について、上限1万円の助成があります。

主唱

滋賀の縁創造実践センター滋賀県社会福祉協議会、滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議、滋賀県

【参考】令和4年度の取り組み

	実施団体名	事業名
1	Smile door子ども食堂	食物アレルギーのぼくたちだからできること～食品選びと応急処置～
2	逢坂Smile door子ども食堂	地域コミュニティを意識した防災学習「地域のおじさんおばさんといっしょにテント生活」
3	アモーレ子ども食堂	子どもの防災教育「わたしは防災イタリアンシェフ」
4	逢坂アモーレ子ども食堂	子どもの防災教育「ひとりでも考えうごける私たち」
5	おいで子ども食堂	3.11みんなで防災を考える
6	むさっ子食堂運営委員会	キッズ防災
7	みんなの食堂ひとやすみひとやすみ	簡単防災頭巾を作ろう
8	たんぽぽ食堂	防災学習
9	夢の学習	子どもの防災教室
10	日野里山フリースクール	日野里山フリースクール
11	社会福祉法人 小嶋会	小嶋の家
12	社会福祉法人湖東会	施設所在地域の地域防災計画についての勉強会
13	社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会	日常生活用具等の説明会と避難訓練
14	滋賀県中途失聴難聴者協会	ネットワークを利用した安否確認訓練
15	滋賀県立信楽学園	防災学習
16	朽木住民福祉協議会	1人で避難できない人をどうするのか、要配慮者の避難支援の学習会
17	ちいきつなげ隊	災害机上訓練研修会
18	滋賀県災害派遣福祉チーム(しがDWAT)	防災訓練

<過去の実施団体>

平成28年度 12団体
 平成29年度 20団体
 平成30年度 14団体
 令和 元年度 11団体
 令和 2年度 17団体
 令和 3年度 13団体
 令和 4年度 18団体

<過去の重点取組>

令和2年度
 ①コロナ禍における災害対策
 ②計画・マニュアルの点検
 ③子どもの防災教育
 令和3年度
 ①個別避難計画を活用した訓練・学習会
 ②コロナ禍における災害対策
 ③子どもの防災教育
 令和4年度
 ①地域コミュニティを意識した防災学習
 ②個別避難計画を活用した訓練・学習会
 ③子どもの防災教育

【お問い合わせ先】

滋賀の縁創造実践センター滋賀県社会福祉協議会

地域福祉課 地域福祉係

〒525-0072

滋賀県草津市笠山七丁目8番138号 滋賀県長寿社会福祉センター内

TEL:077-567-3924 E-MAIL:vc1@shigashakyo.jp